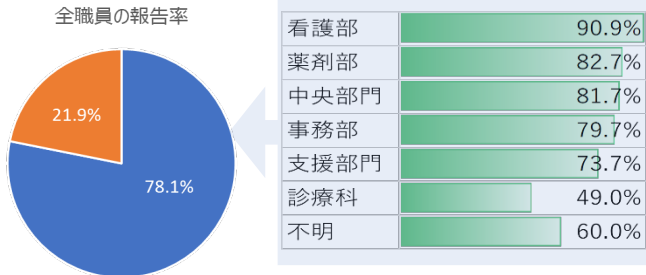


Topics ANPIC の安否報告しましたか？

4 月 23 日（水）に全学で実施された ANPIC の安否確認訓練では、附属病院全体の報告率は **78.1%**、部署別では、看護部所属の職員の報告率が 90.9%と、最も高い結果となりました。



ANPIC での安否報告には、スマートフォンのアプリがとても便利です。まだインストールされていない方は、ぜひこの機会にダウンロードをお願いします。



ANPIC 登録方法

1、アプリをダウンロード iOS 端末の方



Android 端末の方



2、ログイン

- (1) アプリを起動し、下の三重大学用 ANPIC QR コードをカメラで読み込む
- (2) ログイン ID と初期パスワードを入力し、ログインボタンを押す



三重大学用 ANPIC QRコード

ANPIC URL (1)

ログインID：職員番号 (2)

初期パスワード：mle3333

ログイン

3、メールアドレスを登録

- (1) アプリ内安否報告のページから、**家** ボタンをタップし Web サイトにアクセス
- (2) 「三」ボタンをタップしアカウント設定画面へ
- (3) メールアドレス編集から登録



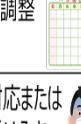
※ANPIC 登録方法の詳細は災害対策マニュアル巻末資料 6 を参照してください

ANPIC はなぜ必要？



Column 風水害のタイムライン紹介

BCP 第 2 版（令和 7 年 3 月）の発行に伴い、風水害発生時をゼロアワーとし、気象・防災情報の発表から優先すべき業務の **タイムライン** を作成しました。今回はその中から、病棟および外来における **タイムライン** をご紹介します。

気象・防災情報	病棟	外来
早期注意情報 警報級の可能性 警報級大雨の可能性 (中～高) レベル 1	情報共有 	情報共有 
大雨/洪水/氾濫注意報 レベル 2	浸水等危険箇所の確認・対応準備 	浸水等危険箇所の確認・対応準備 
高齢者等避難情報 大雨/洪水/氾濫警報 レベル 3	入院患者の安定化 交代職員の確認 (職員の出退時の安全確認) 	患者の帰宅に関する情報提供 職員の出退時の安全確認 外来振替日の調整 
避難指示 氾濫危険情報 土砂災害危険情報 レベル 4	入院患者の安定化傷病者受け入れ (ベッド調整) 浸水等危険箇所の確認 浸水防止処置の実施 人員調整 	多数傷病者対応または水害傷病者受け入れ 帰宅困難者対応 浸水等危険箇所の確認 浸水防止処置の実施 人員調整 
緊急安全確保 大雨特別警報 氾濫発生情報 レベル 5	浸水等危険箇所の確認 浸水防止処置の実施 入院患者対応と水害傷病者対応の並行受け入れ体制確保 	浸水等危険箇所の確認 浸水防止処置の実施 多数傷病者対応と水害傷病者対応の並行受け入れ体制確保 



Face

薬剤部
田坂 健です

この度3大学合同訓練に参加させていただきました。
災害対策は一部の人だけでなく、みんなで備えていくことが
重要だと改めて感じました。今後院内の災害対策にさらに
貢献できるよう努めたいと思います。

Topics 3大学連携訓練が行われました

5月16日（金）藤田医科大学・浜松医科大学・三重大による3大学合同訓練が行われました。今回の訓練では、大規模災害時における協力・支援に関する協定書に基づき、**人員および物資支援**を想定した内容で実施されました。本学からは、医師、看護師、薬剤師が医療救護班として派遣され、医療資材の提供を含む実働訓練に参加しました。



医療救護班の派遣



医療資器材の搬送



災害対策本部

三重大 藤田医大



三重大派遣スタッフ（5名）



浜松医大からのヘリによる物資の搬入



仮設ベッド（藤田医大）

訓練の様子は、中日新聞社でも報道されました。

Center Message

ANPIC に登録して災害時に備えていても、いざという時に安否確認メールが届かなかったり、操作方法が分からなかったりすると、大切な情報を受け取れないことがあります。定期的に訓練を行うことで、連絡先情報の最新化や操作方法の再確認ができ、万一のときに確実に活用できるようになります。こうした訓練は、災害への備えに対する意識を高めるうえでも非常に重要です。

3大学合同訓練により藤田医科大学および浜松医科大学と本学は、「顔の見える関係」を築くことができました。日頃から「顔の見える関係」を築いておくことは、災害時に「お互い様」の気持ちで助け合う大きな力になります。

本部机上訓練も、災害時の対応力を高めるうえで、非常に重要です。関係者が一堂に会し、役割や連携を確認することで、実際の災害時にもスムーズな対応が可能になります。また、訓練を通じて「顔の見える関係」が築かれ、助け合いの輪を広げることにもつながります。机上訓練は随時行う予定です。

災害対策本部マニュアルは災害対策推進・教育センターのHPより閲覧できます。ぜひ見ておいてください。（センター臨床工学技士 あ）



災害拠点病院として地域で一番の災害対策を目指して



News BCPに基づく災害対策本部机上訓練を行いました

～アクションカードの読み合わせ～

5月20日（火）防災会議（防災WG、防火検討委員会合同会議）にて、地震災害発生を想定した災害対策本部机上訓練を行いました。4班に分かれ、**役割別アクションカード**の読み合わせを行い、災害発生時のそれぞれの役割の再確認を行いました。



災害対策本部長班



診療部門統括班



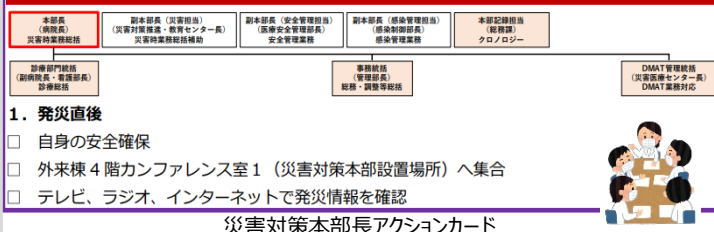
事務統括班



本部記録担当班

災害対策本部長

主な業務：組織構築とその周知、役割付与、活動方針の決定



トリビタ

免震つつじ（通称）

免震クリアランス（建物が地震の揺れに対して安全に水平移動できるスペース）に植えられたつつじが、今年も綺麗に咲きました。

地震時に病院を支える免震装置の存在を感じながら鑑賞してください。